

あれ
これ

町政を問う

質問者



早瀬武臣 議員

Q

地球温暖化防止対策と省エネビジョンは

A

町独自の省エネ対策と推進を検討

問

地球温暖化による環境破壊、被害が全国各地で発生している。地球規模的に考え、身近な出来ることから取り組む事が肝要と考える。当町の温暖化防止対策、省エネビジョンの内容と成果を問う。

答

白石町長

平成14年3月に松前町地球温暖化防止計画を策定し、温室効果ガス総排出量を12年度対比2・4%削減の目標をたて、47項目について取り組んだ結果、17年度は2・66%の二酸化炭素が削減されました。地域省エネビジョンについては今年度策定委員会を立ち上げ、町独自の対策、エコ運動推進を協議しています。

問

歴史、文化財、史跡とまちづくり

ふるさとの歴史、文化財、史跡を学ぶことは大変重要。その保存、継承についての当町の認識と

答

保存、継承は重要な責務
義農社会教育課長

郷土の歴史的文化を保護し、後世へ伝えていく



バイオマス事業（ひまわり油）

活動は、松前史談会他ボランティアとの交流は。また観光としての視野とまちづくりについて、管理と整備を含めた見解を。

問

確かな学力の定着
向上の取り組みは

子供の教育において確かな学力定着は基礎、基本が大切であり、特に読むこと書くことの国語力が重要。その取り組みと普及について問う。

答

繰返し学習、読書
活動を柱
赤星教育長

ことは、将来のまちづくりに向けて重要な責務です。文化財保護審議会を設置し、毎年文化財めぐり講座等を実施し、文化意識向上と指導者育成の促進活動に努めています。松前史談会と情報交換を行い一緒の事業も実施しています。観光としては、町内の史跡めぐり10コースがあり、徒歩やサイクリングで回れるようホームページで紹介しています。これからも、豊かな文化のまちづくりに向け整備等に努めていきます。



平成17年度岡田小学校が学力定着向上調査研究校に指定され、繰返し学習、継続的な読書活動などを研究の柱として取り組んでおり、言葉に対する興味関心が高まった等の成果が上がっています。その成果を普及するため、学力定着向上推進協議会を設置し、情報の共有化を図っています。

教育に関連して、教職員の資質向上、家庭教育の重要性について質問しました。